ふれあいネットワーク・みと

水戸市社会福祉協議会広報紙

No.200
令和6年(2024)
3月15日号
年4回(3・6・9・12月)
発行

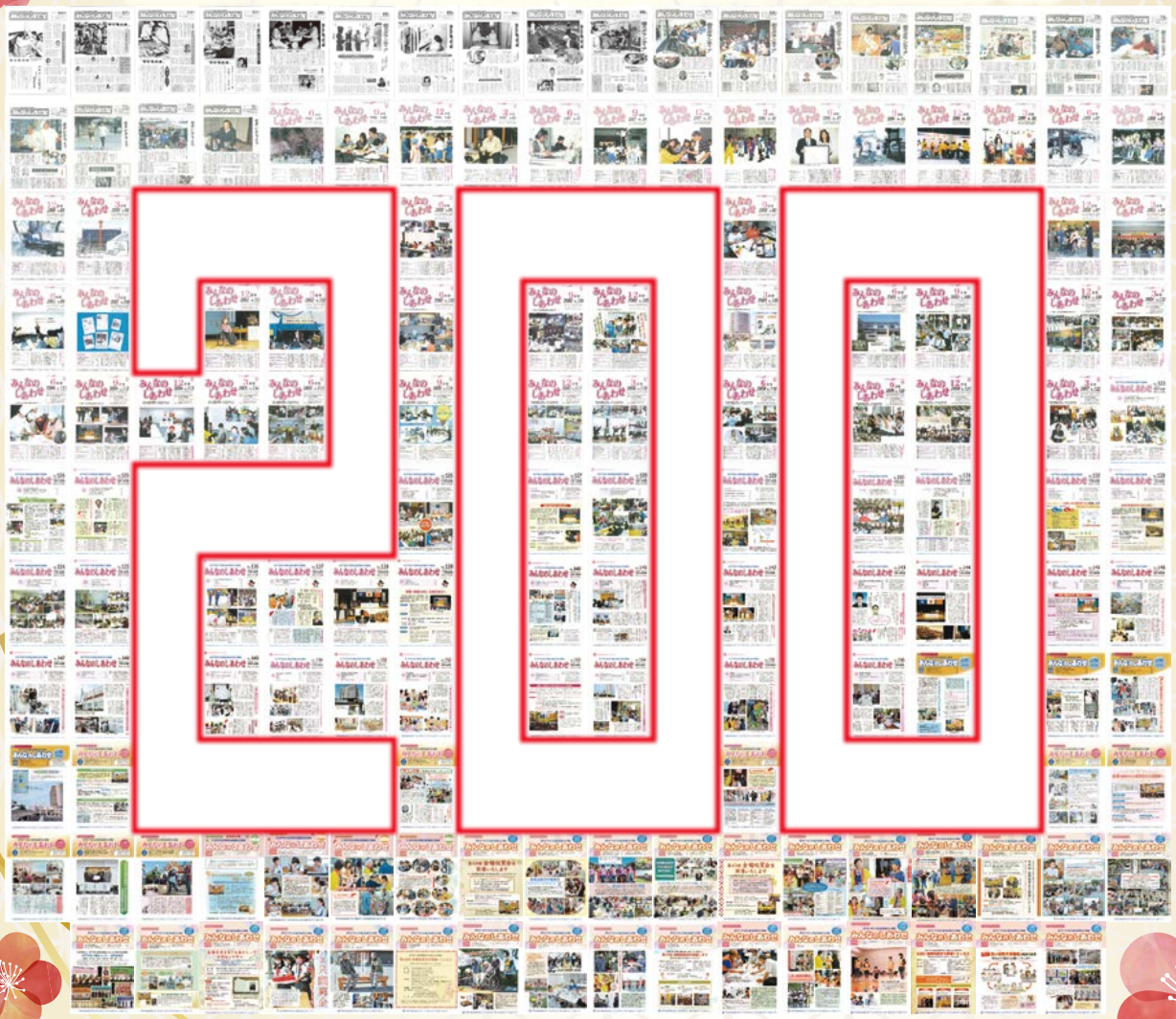
みんなのしあわせ

主な内容

●広報紙発刊200号を記念して……2～3P
●みんなのしあわせ～いまとむかし～……4～5P
●みと社協NEWS……6～7P
●ご芳志ありがとうございました……8P
●赤い羽根共同募金・社協会員会費実績……9P
●ボランティアセンターだより……10P

広報紙「みんなのしあわせ」創刊200号

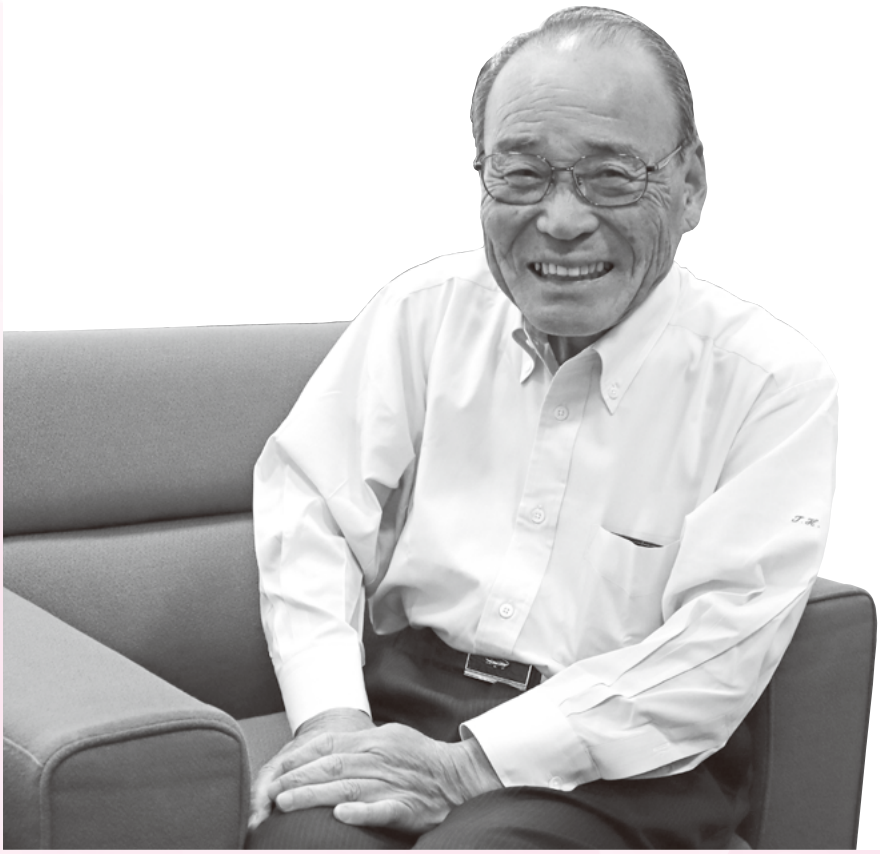
～「福祉のまち水戸」を目指す活動をこれからも伝え続けます～



水戸市社会福祉協議会は皆さまとともに「福祉のまち水戸」の実現に取り組みます。

広報紙発刊２００号を記念して

社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
会長　保立　武憲



水戸市社会福祉協議会の活動状況を広く市民の皆さまに承知していただき、活動の幅を広げていく上で、広報紙は極めて大切な役割を担っております。

今般、発刊２００号となりました。現在は、年間４回の発行としておりますが、過去には年間６回発行としていたこともありました。そうした経緯なのでしょうが、１００号の発刊は２００１年でありました。

社会福祉協議会の役割は地域福祉の推進を図ることであります。しかも民生委員や自治会、女性会、高齢者クラブ、ＮＰＯ法人等々の多くの団体との連携を図り、地域の特色を十分認識した活動の展開が求められております。

そして、そうした活動状況を含めて社協の実際を紹介することで、市民の多くの皆さまに理解を深めていただくことが広報の大きな役割です。

最近は、情報を提供する媒体が紙ベースばかりではありませんので、ＳＮＳ（エックス、インスタグラム等）のインターネット媒体についても活用しております。特に支部活動の紹介やいきいき交流センターの出来事、社協のイベントの案内等については、インターネット媒体の活用に注力しているところであります。是非ともご活用していただけるようお願いを申し上げます。

水戸市社協の大きな変化

水戸市社協は、２０１６年に水戸市社会福祉事業団と合併したことにより担当する業務分野が大幅に拡大しました。特に障害者施設運営は現業分野であり、行政からの受託事業ではありますが、水戸市社協が他の市町村社協と大きく異なるところとなりました。

社会福祉の推進が業務の中心であることになんら変わりませんが、障害者施設の運営には、生活支援に加え、就労支援という大事な項目があります。障害者総合支援法に基づく就労支援も幅広く、一般就労及び福祉的就労の場としての施設運営があります。そして、入所施設における生活支援は24時間３６５日体制でしっかりと見守りをしていかなくてはなりません。また、従事にあたっての資格要件は、生活支援、就労支援とも求められるところであります。

社協人員も70名くらいから、一気に３００名を超える規模の組織となりました。組織が巨大化したということは、内部統制をしっかりと整え組織全体の動きを経営陣が把握できるようにすることに加え、それぞれの組織職員の相互交流、そして求められる資格取得の促進等、職員自身にも合併したことに伴う変化を前向きに受け止めて行動していただくことを求めざるを得ませんでした。お陰様で順調に進展してきていると認識しているところです。

皆さまより集められた社協会費は、支えあい・助けあいのための事業推進を支えています。

時代の変化に対応して

社協活動は、社協会費（賛助会員含む）や寄付金等で事業運営を行っております。もちろん、共同募金活動による配分金についても、共同募金支援事業として社協活動のおおきな一翼を担っていただいております。

最近の大きな動きとして、地域のつながりを担っている自治会の組織率の低下が挙げられます。人口は減少傾向なのに、世帯数が増加、また、夫婦共働きの世帯が全国で約6割に達する等、働き方も変化しております。更に、情報伝達が紙ベースやマスメディアから、インターネットへと情報量、スピード共に大きく変化しました。そうした変化は、個々人の価値観等にも大きな影響を与えているところです。

そして、超高齢人口減少社会の進捗です。社会保障人口問題研究所の推計では、2100年には日本の人口は6千万人台まで減少すると見込まれております。誰もがこの予測を〝よし〟としている訳ではありません。国、都道府県、市町村をあげて、人口減少問題に対応すべく動き出しているところです。

社協の諸活動においても高齢者の増加による影響が指摘されております。超高齢社会の出現は新しい命の誕生が少ないという事が一番ですが、もう一つ、平均寿命が伸びているということです。そこで大切なことは、健康寿命も延伸させるという事です。病気の早期発見ということも大切なポイントですが、どういう生活をしたら病気にかかり難くなるかといったことでしょう。例えば、シルバーリハビリ体操も良いでしょう。人間として大切なのは、毎日の出来事に興味を持ち、そして周りの人と会話をするというのが一番大切だと言われております。

私たち社協では、各地域に〝ふれあいサロン〟〝おしゃべりサロン〟名前はなんでも良いのですが、その地域でお話をする、お話ができる〝場〟づくりに注力させていただいております。そして元気な方々には、是非、社協活動にご参加いただき…、いや、そうでなくても、例えば、子供さんの登下校時に自宅の庭からでも見守りいただくなど、積極的に地域活動にご参加をいただければ有難いと考えております。

一方、小さな子供さんへの対応も大切です。社協では多世代交流サロンの開催や多世代交流イベントを推奨してきました。今後は、更に共働き世帯が増加していくことでしょう。小さな子供さんへの対応は、社協活動の重要な検討課題として捉えております。新しい時代に合った活動とは何か。常に問いかけて行動し、広報していくことが大切であると認識しております。

今後の活動のポイント

現在水戸市社協は、34支部、8ブロックの体制で地域活動を推進しております。この体制については、当面変化することはないものと考えております。そして、支部間の活動状況等について、広報紙やSNS等での紹介をきめ細かに行っていくことで、社協に対する市民の皆さま方に理解を深めていただけるようにして参ります。

超高齢人口減少社会がなお一層進展することを考えれば日常生活自立支援事業や在宅介護等の福祉サービス、子育てサロンや多世代交流サロン、障害者支援等充実を図らなくてはならない事業は数多くあります。

そして万一に備えた災害ボランティアセンター運営についても練度を上げていかなくてはなりません。地域福祉の推進はとどまることはないことを肝に銘じまして、広報紙200号のご挨拶とさせていただきます。

みんなのしあわせ ～いまとむかし～

昭和48年３月に水戸市社協の広報紙第１号「みとの福祉」が発行されてから、約50年の時を経て、このたび第200号を迎えました。

発足以来、地域福祉を推進することを使命として、市民の皆さまと共に、活動してきた水戸市社協の広報紙の「いま」と「むかし」をお伝えします。

記念すべき第１号「みとの福祉」

昭和28年に発足し、昭和44年に法人化した水戸市社協では、市民の皆さまに「社会福祉協議会」をPRするため、広報紙の発行が待ち望まれていました。

そしてついに、昭和48年３月に本会の広報紙第１号「みとの福祉」が発行されました。

表紙には、こんなことが書かれています。

- 水戸市に住んでよかったなあ
- 長生きした甲斐があったなあ
- そんな水戸市をみんなでつくりあげましょう

第１号

「みとの福祉」から「みんなのしあわせ」へ

昭和57年５月に発行された第23号からは名称が「みんなのしあわせ」に改められました。

その頃は、「みんなで伸ばす」という言葉が添えられ「**みんなで伸ばす―みんなのしあわせ**」として、その言葉どおり、地域福祉の推進はもちろん、広報紙作りまでも「みんな」を巻き込んでいる様子が、記事の内容からうかがえます。

第23号

「平成」の時代に第100号を迎える

その後、平成13年９月には、約28年を経過し第100号を迎えました。この年は、水戸市社協が受託運営する、市福祉ボランティア会館のオープンとボランティア国際年が重なった年であり、一年を通して、盛んに**ボランティア養成**講座が開催された様子が記事になっています。

第100号

「令和」の時代に迎えた「第２００号」

水戸市社会福祉協議会
事務局長
多田　厚史

ＳＮＳが普及したこの令和の時代に、広報紙の存在意義はどこにあるのでしょうか。私も人並みに数種類のＳＮＳを活用し様々な情報を得ていますが、情報の即時性や伝播性をありがたく思う反面、その情報が正しいものか判断に迷うことも多くあります。また、読み物として深くじっくり付き合うことはないため、記憶として残ることも少ないのが事実です。

広報紙は、紙という媒体をとおして様々な想いが詰まった貴重な成果物です。

取材する記者の想い、取材を受ける対象者の想い、編集会議メンバーの想い、広報紙を目にする住民の想い、それらの想いは令和の時代になっても変わらない大切なものです。

水戸市社協の広報紙「みんなのしあわせ」は、そういった想いを大切にし、令和の時代まで継続することができました。社協はどういう組織なのか、会員会費はどのように使われているのか、社協支部活動とは何をしているのかなどといった疑問を、住民の皆さまへわかりやすく定期的に情報発信することを第一に考え、紙面でしか表現できない読み物にすることを心がけてきました。毎回、多くの記事の編集に携わっている広報紙編集委員会委員の皆さまの熱意には頭が下がる想いです。

２００号を新たな出発点とし、令和の次の時代に向けて、皆さまの幸せを包む「幸包紙（こうほう）」となるよう、幸せが詰まった社協活動を紙面にてお届けしてまいりますので、今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

水戸市社協の広報活動

【問合せ】総務企画課企画広報係
☎029-309-5001

ホームページ
水戸市社協公式ホームページです！

X
エックス
（旧 ツイッター）

フォローをよろしくお願いします

Facebook
フェイスブック

Instagram
インスタグラム

水戸市社協の事業活動について、日々更新中！

あかしあのクリスマス会

12月14日㈭、いきいき交流センターあかしあにおいて、ボランティアサークル話音絵＝わおんかいの皆さまのご協力のもと「あかしあのクリスマス会」を行いました。

クリスマスの衣装で参加した子どもたちも多く、クリスマス会を盛り上げてくれました。

効果音付きの大型紙芝居をはじめ、楽しい手遊び、素敵な演奏や歌、サンタさんからの手作りプレゼントなど、盛りだくさんのプログラムでした。

小さなお子さんから高齢の方まで、90名近くの幅広い世代の方に参加していただき、にぎやかな多世代交流が図られました。

地域福祉活動計画策定委員会

１月30日㈫、令和６年度から５年間の地域福祉推進の方策、具体的な実践内容をまとめた第４次の地域福祉活動計画を策定するため、地域福祉活動計画策定委員会を開催しました。公募による市民をはじめとした、地域福祉を推進する団体の代表を委員とし、計画内容について協議しました。

第３次の活動計画の課題や評価、市内の福祉員や福祉活動推進員を対象としたアンケートの分析結果等を踏まえ、４月からの計画実施に向け準備を進めてまいります。

皆さまより集められた社協会費は、ともに支えあう地域福祉の推進に役立っています。

災害ボランティアセンター運営訓練

１月27日㈯、アダストリアみとアリーナにて、「災害ボランティアセンター運営訓練」を行いました。民生委員や社協支部役員の他、災害時協定を結んでいる団体など110名の方にご参加いただきました。

開会に先立ち、能登半島地震で犠牲となった方々に黙禱を捧げました。

災害ボランティアセンターは、ボランティアによる支援活動が円滑に行うことができるよう、主に被災地の社会福祉協議会が中心となって設置するものです。また、NPO法人や企業等と連携した協働型の災害ボランティアセンターの運営も求められています。

突然の災害時に迅速かつ円滑に運営していくためには、平時からの備えが大切です。参加した方々のご意見を踏まえ、運営訓練の在り方も検討しながら、今後も災害時に向けた訓練を継続してまいります。

福祉講演会

２月17日㈯、茨城県ニュースポーツ協会会長の介川文雄様を講師とし、市福祉ボランティア会館にて、「ニュースポーツとハンディキャップ体験」と題して福祉講演会を開催しました。

参加者は、３種類のニュースポーツ（ボッチャ・シャフルボード・バッゴー）を体験し、「どのスポーツも楽しい！」と皆さん時間を忘れて熱中していました。ニュースポーツを楽しみながら福祉を学び、世代や障害の有無を越えて交流した共生社会のきっかけづくりの場となりました。

※ボッチャ…白ボールの的に向かって赤・青６球ずつボールを投げ、白ボールとの距離の近さを競う競技。
※シャフルボード…細長い杖でディスクをコート上に押し出し得点を競う競技。杖を使ったカーリングのようなゲーム。
※バッゴー…穴の空いた得点板に向かって、交互に重りの入ったバッグを投げて点数を競う競技。

皆さまより集められた社協会費は、各種事業に活用されています。

令和5年度　社会福祉法人　水戸市社会福祉協議会

賛助会員・団体会員の皆さまありがとうございます（敬称略・順不同）

地域貢献活動としてお寄せいただいた会費は、地域福祉推進の貴重な財源として活用いたします。今後も会員を増やす努力をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

賛助会員の皆さま（篤志家及び企業）

（一社）茨城県建築士事務所協会、山本美波子、（一社）茨城県建築士会、（一財）茨城県建築センター、㈱柴建築設計事務所、㈱ロシナンテ、㈱アビック、茨城県火災共済協同組合、第一熱学建設㈱、㈱日創工業、㈱小貫写真館、（一財）茨城県住宅管理センター、魚三、鈴木精肉店、和興自動車㈱、大昭和カーペット㈱、㈱サンアメニティ茨城支社、㈱ニシノ産業、（福）親愛会、水戸ホーチキ㈱、（福）ユーアイ村、中央労働金庫水戸支店、小林紙商事㈱、㈲ロビンス熱工業、（特非）ひと・まちねっとわーく、堀江青果㈱、㈲一心、㈲エヌ・ケーユニフォーム、アクアテクノ㈱、ウルノ商事㈱、東京美装興業㈱茨城営業所、㈱フジタビジネスマシンズ、㈱アイデム水戸営業所、橋本電炉工業㈱、㈱電化センタータカハシ商会、自立生活センターＣＩＬいろは、新安全警備保障㈱、㈲サインボード・ジュン、㈲赤岩燃料店、㈱伊勢甚本社水戸プラザホテル、㈱暁恒産、（福）茨城県社会福祉事業団、ハタミ特装㈱、遠藤米穀店、㈱三浦商店、総合病院水戸協同病院、茨城サニット㈱、水戸ヤクルト販売㈱、（福）北養会介護老人保健施設くるみ館、（一社）水戸地区救急普及協会、茨城寺岡オートドア㈱、生涯学習倶楽部、㈲ワイズピット、ＴＡ．ＡＧＥＮＴ、中央みるくセンター、㈲大黒鮨、㈱ジェムコ水戸支店、㈱エム・ビー・シー、㈱ロングライフ、㈱光和印刷、（一社）春風、㈱田徳、（福）徳泉会、水戸通信工業㈱、いばらきコープ生活協同組合、笹沼自動車整備工場、花と葉の店iroha、㈱エバタコーポレーション、（社福）友幸会、匿名個人２名

団体会員の皆さま（社会福祉事業所等）

（福）光風会、（医）それいゆ会べるびー水戸、（特非）優心会就労継続支援Ｂ型事業所ゆずりは、（福）緑会、（福）樅山会、（福）尚生会介護老人福祉施設グリーンハウスみと、（福）同仁会内原和敬寮、（福）同仁会内原深敬寮、（福）聖光学園、（福）やまびこの里福祉会、㈱ツクイ水戸営業所、（福）清香会あゆみ園、（一社）水戸市医師会訪問看護ステーションみと、（福）栄寿会第二若葉園、（福）くれよん、（福）小川会、（一財）安寿苑ローズヴィラ水戸、（福）祐徳会、（福）愛の会特別養護老人ホーム双葉陽だまり館、（福）愛友園、日本赤十字社茨城県支部乳児院、（福）清香会育心園、（福）ひだまり会障害者自立支援センターゆきわりそう、（福）北友会特別養護老人ホーム渡里すずらん苑、（福）恵和会、㈱マネジメントセンター、（福）地球の子ども会、（福）勇成会障害者支援施設ありすの杜、（福）恒勝会特別養護老人ホームライフピア河和田、（特非）ふくろう、（福）恒勝会特別養護老人ホームライフピア青柳、水戸市重症心身障害児（者）通園施設あけぼの学園、（社福）新水会のぎく保育園、（社福）大翔会

みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会　令和５年11月～令和６年１月受付分（敬称略・順不同）

寄付金（社会福祉事業に）

荘司良一／落合優美／真如苑／明治大学校友会水戸地域支部／水戸市教育委員会好文カレッジ／水戸友の会／水戸ライオンズクラブ／いきいき交流センターあかしあ陶芸教室／とんぼ玉クラブ／（公財）茨城新聞文化福祉事業団／水戸遊技場組合／匿名５名（令和５年度１月末累計額　26,511,671円）

使用済み切手・プリペイドカード類・物品等

水戸更生保護女性会／混声合唱団コール水戸／水戸手話を学ぶ会／㈱笠間ソフトメン橋本屋／ボーイスカウト水戸第４団／朗読ボランティア「ひびき」／アクティブボランティアみと／ミュージックベル28♪響（ひびき）♪／たまり場かねた／水戸市シルバー人材センター手芸サークル／（一社）茨城県電設業協会／水戸保護観察所社会貢献活動係／サークル・点心／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会西部支部／ハートピア水戸／水戸シニアアンサンブル／赤塚女性会／ガールスカウト茨城県第17団／浜田地区高齢者クラブ連合会／㈱こしば／手話サークルさくらんぼ／あさか耳鼻咽喉科クリニック／手話サークルたんぽぽの会／水戸市社会福祉協議会吉田支部／水戸市福祉総務課／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会笠原支部／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会見川支部／東亜建設工業㈱茨城営業所／㈱匠建築研究室／水戸通信工業㈱／水戸ホーチキ㈱／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会南部第一支部／大和ハウス工業㈱／介護用品のスマイル㈱日本ドライ／ボランティアコスモス／精神障害地域ケア研究所「風（Foo）」／水戸ヤクルト販売㈱／ブランドチケットイーリス／内原同仁会子どもセンター／水戸市レクリエーション協会／水戸市斎場／関東ビルサービス㈱／水戸市重症心身障害児（者）通園施設あけぼの学園／望月総合法律事務所／水戸市介護保険課／茨城県隊友会水戸支部／水戸市幼児保育課／水戸河和田郵便局／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会東部支部／吉沢学区子ども会育成連合会／水戸下市郵便局／水戸ヤクルト販売㈱／堀原住民の会福祉厚生部／城東女性会／宮下かし子／杉山キミ／坂場和美／宇野一枝／荘司良一／井坂東志行／中村孝子／中村寿之／安藤美智子／四ッ倉文惠／八木岡豊子／曽根孝次／石田早苗／清水千壽／吉田潤一／朝川憲／久保田圀男／奥田俊裕／忍垂宣子／雨谷昭一／雑賀大介／橋本律子／笠原安子／菅谷健太郎／大和田ひろみ／田口三智子／吉田慶子／川村和雄／黒澤保夫／川井稔／皆川政芳／川又豊彦／小柳万里子／須藤洋子

〈寄付金をいただきました〉

真如苑様

〈寄付金をいただきました〉

明治大学校友会水戸地域支部様

〈物品をいただきました〉

浜田地区高齢者クラブ連合会様

〈物品をいただきました〉

大和ハウス工業株式会社様

〈物品をいただきました〉

水戸ヤクルト販売株式会社様

〈寄付金をいただきました〉

水戸ライオンズクラブ様

皆さまよりお寄せいただいたご芳志は、各種事業に活用されています。

令和5年度　水戸市の共同募金・歳末たすけあい募金実績表

（単位：円）

区分	地　区	実績額	地　区	実績額
戸別募金（小学校区毎）	三の丸	583,500	笠　原	887,300
	五　軒	545,400	寿	915,380
	新　荘	799,400	吉　田	697,000
	常　磐	1,075,300	吉　沢	849,400
	堀　原	631,750	酒　門	1,009,000
	浜　田	690,800	上大野	414,600
	城　東	869,960	柳　河	428,400
	千　波	1,306,050	渡　里	869,287
	見　川	1,035,300	国　田	354,400
	梅が丘	1,159,100	飯　富	461,300
	石　川	1,137,150	下大野	376,300
	赤　塚	348,850	稲荷第一	379,000
	河和田	832,700	稲荷第二	188,500
	上中妻	833,000	大　場	304,200
	双葉台	1,000,000	内　原	916,220
	山　根	156,100	鯉　淵	814,800
	緑　岡	1,505,040	妻　里	723,900
小　計				25,098,387

区分	地　区	実績額
法人・団体・篤志家募金（地区民生委員児童委員協議会毎）	中　央（三の丸・五軒・柳河）	787,000
	新　荘	393,500
	常　磐	374,000
	石　川	225,000
	東　部（浜田・城東・上大野）	712,000
	南　部（吉田・吉沢・酒門）	566,000
	緑　岡（緑岡・笠原・寿）	699,000
	見　和（見川・梅が丘）	206,000
	千　波	462,000
	渡　里（渡里・堀原）	412,000
	北　部（国田・飯富）	226,000
	赤　塚（赤塚・河和田・双葉台・山根・上中妻）	531,000
	常　澄（下大野・稲荷第一・稲荷第二・大場）	154,000
	内　原（妻里・内原・鯉淵）	342,661
	水戸市共同募金委員会事務局	600,000
小　計		6,690,161

区分	実績額
・街頭募金	189,108
・イベント募金	445,358
・職域募金	215,477
・学校募金	65,622
・寄付付き商品	20,290
・その他	356,459
小　計	1,292,314
合　計	33,080,862
県共募預かり金（募金ができる自動販売機からの寄付金など）	291,788
総　合　計	33,372,650

令和６年１月末現在

令和5年度　社協会員会費実績表

○社協会員会費は、地域福祉を進めるための大切な財源です。社協各支部の福祉事業や市内における地域福祉活動の資金になっています。

（単位：円）

支部名	会費実績額	支部名	会費実績額
三の丸	792,600	寿	819,500
五軒	859,450	吉田	919,450
新荘	708,200	吉沢	892,500
常磐	917,400	酒門	919,200
堀原	659,400	上大野	323,500
浜田	1,248,300	柳河	357,500
城東	1,073,400	渡里	982,450
千波	1,423,000	国田	286,500
見川	975,500	飯富	373,000
梅が丘	1,517,800	下大野	297,500
石川	1,061,250	稲荷第一	253,500
赤塚	294,250	稲荷第二	203,000
河和田	642,100	大　場	247,500
上中妻	632,000	内　原	652,500
双葉台	942,650	鯉　淵	649,000
山根	111,500	妻　里	522,500
緑岡	1,199,750	事務局	674,000
笠原	770,000	合計	25,201,650

令和６年１月末現在

令和5年度　水戸市の歳末たすけあい事業実績表

（単位：円）

助成先		申請数	助成額
在宅者	ひとり暮らし高齢者世帯	315件	3,150,000
	ねたきり、認知症高齢者世帯	3件	30,000
	準要保護世帯	34件	340,000
	重度障害者（児）世帯	50件	500,000
	未就学児のみを養育している母子父子世帯	4件	40,000
	●在宅者援護金助成　計	406件	4,060,000
●歳末地域たすけあい事業助成		77件	3,589,000
助成諸経費			269,000
合　計			7,918,000

令和６年１月末現在

広報紙編集委員から　ひとこと

今回は、記念すべき200号の発行です。広報委員として携わることができましたことに感動を覚えます。

「みんなのしあわせ」は、各種事業・地域福祉活動・ボランティア活動等を紹介し、社会福祉への理解を促してまいりました。

少子高齢化社会が進行するなかで、福祉活動の充実を図りながらこれからの時代の変化に合わせた記事を掲載していくことが大切な役割と考えます。住みなれた地域のなかで、安心して暮らせる福祉のまち「水戸」の実現を目指しながら皆さまに役立つ広報紙を発信していけたらと思います。

（田上恵子　記）

編　集　水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会
発　行　社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
〒311-4141　水戸市赤塚 1-1
（水戸市福祉ボランティア会館内）
TEL　029-309-5001
FAX　029-309-5525
URL　https://www.mito-syakyo.or.jp
E-mail　syakyo@mito-syakyo.or.jp

赤い羽根共同募金の助成金は、地域福祉の推進に役立っています。

令和6年（2024年）3月15日号

ボランティアセンターだより

（シンボルマークと標語）

育てよう　みんなの幸せ　思いやり

問合せ・申込み等
水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1（水戸市福祉ボランティア会館内）
TEL 029-309-1011　FAX 029-309-1139
https://www.mito-syakyo.or.jp
月曜日～金曜日　9:30～16:30

令和6年度ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険は、無償のボランティア活動中において、事故により死傷した場合や法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いするものです。ボランティア活動をする際には必ず加入してください。

保険期間　**令和６年４月１日０時から令和７年３月31日24時まで**
すでに加入されている方は更新の手続きをお忘れないようご注意ください。

ボランティア活動保険パンフレット（令和6年度版）

			①基本プラン	②天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	特定感染症		補償開始日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		５億円（限度額）	
年間保険料（１名あたり）			**３５０円**	**５００円**

※災害ボランティア活動の参加は、地震・噴火・津波による死傷も補償対象となる②プランの加入をおすすめします。
※加入は１名につき１口です。保険期間の途中で加入された場合でも保険料は同額となり、途中解約による保険料の払い戻しは出来ません。

令和６年度 mitoこどもボランティア隊 メンバー募集!!

身近なボランティア活動や地域の人との交流などをとおして、互いに協力し合う大切さや福祉について楽しく学びます。

活動期間　令和6年5月～令和7年2月
※月1～2回の活動（約2時間）を全10回程度を予定
車いす体験、水戸黄門漫遊マラソンのランナー応援、公園の花植えなど

対象者　市内に居住または通学する小学3～6年生

募集人数　20名

申込み期間　4月22日（月）～24日（水）

電話またはFAX、Eメールに住所、氏名（児童、保護者）、電話番号、学校名、学年を記入し、お申込みください。
※抽選結果は、郵送で申込者全員にお知らせします。
Eメール　appli@mito-syakyo.or.jp

パソコン相談

ボランティアの方が個別に相談に応じ、パソコン、タブレットやスマートフォンのお困りごとを解決します!
例：メールの送信方法、Excelでグラフの作り方、ネットショッピング、写真データの保存方法、LINEの使い方など

予約制・無料
毎月第2・4土曜日

令和6年度チラシ（月別予定表）

午前の部 10:00～12:00（定員7名）
午後の部 13:00～15:00（定員7名）

対象者は、次のいずれかに該当する方です。

- 市内に居住または通勤している概ね60歳以上の方
- 市内に居住または通勤している障害がある方
- 市内でボランティア活動をしている方

※ご自身のパソコン、タブレット、スマートフォンをご持参ください。